

## ローマ人への手紙第六六回質問

7…1 それとも、兄弟たち、あなたがたは知らないのですかー私は律法を知っている人たちに話していますー律法が人を支配するのは、その人が生きている期間だけです。

7…2 結婚している女は、夫が活着ている間は、律法によって夫に結ばれています。しかし、夫が死んだら、自分を夫に結びつけていた律法から解かれます。

7…3 したがって、夫が活着ている間に他の男のものとなれば、姦淫の女と呼ばれますが、夫が死んだら律法から自由になるので、他の男のものとなっても姦淫の女とはなりません。

7…4 ですから、私の兄弟たちよ。あなたがたもキリストのからだを通して、律法に対して死んでいるのです。それは、あなたがたがほかの方、すなわち死者の中からよみがえった方のものとなり、こうして私たちが神のために実を結ぶようになるためです。

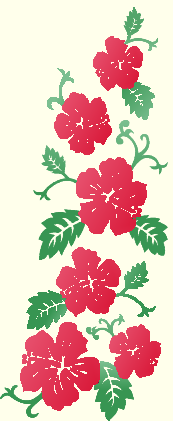
7…5 私たちが肉にあつたときは、律法によって目覚めた罪の欲情が私たちがからだの中に働いて、死のために実を結びました。

7…6 しかし今は、私たちは自分を縛っていた律法に死んだので、律法から解かれました。その結果、古い文字にはよらず、新しい御霊によって仕えているのです。

(ロマ七章一―六節／新改訳2017)

(問一) クリスチャンの四つの特徴を挙げ、それぞれを簡単に説明して下さい。

(問二) 以下について自問して下さい。①自分は生まれ変わり、新しいのちを持っていますか。②神に対する関係はどう変わりましたか。③自分の人生に新しい目的を持っていますか。





## クリスチャンとは

(ロマ七章四節)

クリスチャンとは、いったいどういう人々なのでしょうか。ここには、クリスチャンとはどういう人々なのか<sup>と</sup>いうことがしるされています。この個所は、本来的には、すでに述べてきたことを要約するという形でしるしているのですが、はからずもここにクリスチャンの四つの特徴を挙げ、クリスチャンとはこういう人々だということ述べております。

第一に、クリスチャンとは、全く新しいのちを持つている人々です。クリスチャンは、ひとたび死んだ者です。しかし、死んだままではありません。今生きています。ここでは、「死」に対して「よみがえり」ということばが出て来ますが、よみがえられた方のもとなつたとは、いのちが与えられたことを意味します。クリスチャンとクリスチャンでない人々

との間にあるこの相違は、最も根本的なものです。ですから、クリスチャンになるということは、それまでの生活をいくらか良く改善するものではありません。キリスト教というアクセサリーをつけることではないのです。本質的には、それまでの生活と全然変わらず、ただその上に何かをつけてみても、それでクリスチャンになれるわけではありません。何かをやめて、その代わりほかの何かをつけ加えることでもありません。それは改善にすぎません。改善によつては、決してクリスチャンになることはできません。心を入れ替えて、今までよりましな生活をしようとしても、それは改善にすぎません。そんなことによつては、決してクリスチャンになることはできません。たとい洗礼を受けても、多くの献金をしても、クリスチャンになることはできません。クリスチャンになるには、古い人に死んで、新しいのちが与えられなければならぬのです。これは、自分の努力や、決意だけでできることではありません。新約聖書においては、クリスチャンになることについて、「新しく生まれなければならぬ」とか、「新しい創造」<sup>(2)</sup>「新しく造られた者」<sup>(3)</sup>ということばが使われています。これこそ新生と呼ばれるものにはかなりません。この新生によつていのちが与えられるのです。

そこで、聖書では、新生した人、つまり生まれ変わった人に対して、まだ生まれ変わっていない人のことを、「生まれながらの人間」<sup>(4)</sup>と呼んでいます。この世に一度誕生して来た人々で、生まれ変わっていない人々です。ところが、今日大きな問題は、このような生まれながらの人が教会の中に入っ

て来ていることです。求道者として入ってきているのではなく、教会員となっているのです。霊的いのちのない人々によって教会が構成されている現実を知る時、どうしても今日の多くの教会が無力になってしまったかという本当の理由を知ることができません。無力であるだけでなく、問題だらけであつて、しかもそれを解決する共通の基盤がなくなつてしまつてゐるために、大きな危機を感じます。ですから、わたしたちの教会は新生した者だけが教会員になるように心がけています。

第二に、クリスチャンとは、全く新しい関係に入つた人々です。この個所において、パウロはそのことをとくに強調しています。わたしたちは以前には、律法によって神との関係を持つていました。今や主イエス・キリストによって神との関係を持つようになりました。なんと驚くべき変化でしょうか。神の御前におけるわたしたちの立場は全く変わったのです。律法によって神の御前に立つ立場は、「律法の下」にある立場であつて、それはまた「罪の奴隷」であり、つまり、律法によって告発されているということです。律法が告発する時、わたしたちは被告人として、その判決に従い、死刑執行を待つ身なのです。しかし、今は違います。キリストが身代わりにわたしの受けるべき刑罰を受けてくださり、そのことによって「恵みの下」に置かれました。つまり、「今はキリスト・イエスにある者は、絶対に断罪されることはない」のです。これが、クリスチャンの立場です。

第三に、クリスチャンとは、全く新しい人生の目的を持つ



ている人々です。クリスチャンになる前には、だれでも人生の目的が何であるのかわかりませんでした。そんなことを考えたこともなければ、考えてみたところで、わかるものではありませんでした。自分自身に満足していたのです。あらゆることが自己中心的であり、極めて利己的でした。自分さえよければそれでよかったです。自分が道徳的であれば、それを誇り、他の人と違って良いところを見つけ出しては、それをひそかに誇り、自己満足をしていました。いつでも自分を喜ばせる生活でした。自分の力に頼り、自分の努力で何でもできると思っていました。ですから、人生の本当の目的など持つてはいなかったのです。しかし、どんな人でも、クリスチャンになると変わります。全く新しい目的が与えられます。ここでは、それを「神のために実を結ぶ」と言っています。ここにクリスチャンの生きがいがありますし、生きる方向が定まったのです。

第四に、クリスチャンとは、全く新しい力が与えられた人々です。クリスチャンになる前は、自分である程度努力していた人も、それには限界があるということを知りませんでした。少なくとも自分が聖く正しい生活をするという点に関しては、全く無力であったのです。もっと卑近な例を挙げると、自分で自分をコントロールすることができません。ほかの人のことに関しては、比較的冷静に物事を考えることができて、いざ自分のこととなると、冷静さがなくなり、必ず主観や感情が混入してきてしまいます。聖さ、正しさについても同じことが言えます。全く無力なのです。

ところが、クリスチャンには「神のために実を結ぶ」という目的が与えられ、それができるための力が与えられたのです。それまでは失敗の繰り返しであった人生が、全く変わったのです。「神のために実を結ぶ」ことができるようになりました。それは、新しいのちが与えられたからです。この新しいのちは、いつもいのちの源であるキリストと結びついていなければなりません。そうしている限り、わたしたちは「神のために実を結ぶ」ことができるのです。

そこで、わたしたち自身、自分に問うてみたいと思います。わたしたちは生まれ変わりましたか。そして、新しいのちを持っていきますか。ある人々は、生まれ変わっていないながらも、自分はまだ無力だから、いのちを持っていないのではないかと考えています。生まれ変わり、いのちを持っていても、まだ赤ん坊であれば、おとなのように活発に動くことはできません。その人は、ペテロが教えているように、「生まれたばかりの乳飲み子のように、<sup>(6)</sup>純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し」ていくことができます。

次に、あなたの神に対する関係は変わりましたか。奴隷のように恐れを持っていたのに、今は恐れることなく神に近づき、「天のお父様」と言って、信頼し、祈ることができましか。

また、三番めに、あなたはご自分の人生に新しい目的を持っていますか。神との関係が全く新しくなったために、心から喜んで神に仕えることができるようになりました。あなたは神が望んでおられることのために、あなたの人生を喜んで

ささげ、神に仕えようと思っ  
ていますか。

そのために、神は力を与えて  
くださいました。ですから、  
しようと思えば、それができ  
るはずですよ。ですから主が  
望んでおられることをしよ  
うではありませんか。この世  
界とそこにいる人々のため  
に、主があなたを用いてし  
ようと願っておられること  
のために、主から与えられた  
力を使おうではありません  
か。

注(1)ヨハネによる福音書三章三節 新改訳。

- (2)ガラテヤの諸教会への手紙六章一五節。
- (3)コリント教会への第二の手紙五章一七節。
- (4)コリント教会への第一の手紙二章一四節。
- (5)ローマ教会への手紙八章一節。
- (6)ペテロの第一の手紙二章二節 新改訳。

尾山令仁・ローマ教会への手紙講解(ロイドジョンズ・ロマ書講解要約)より

